

事業名 CD	0104020190	合併処理浄化槽設置促進事業	
細分化した事業名		浄化槽巡回指導事業	
事業担当課室 CD	200100	市民課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	自然を活かし、自然にやさしいまちづくりの推進	
	中項目	自然環境の保全	
	小項目	0	
関連する個別計画等	生活排水処理基本計画・環境基本計画	根拠条例等	浄化槽法
関連する事業	合併処理浄化槽設置促進事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内の水質保全のため、既設浄化槽の点検及び清掃等の未実施家屋の指導。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	一般家庭用合併浄化槽、単独浄化槽及び所有者
これまでの改善経過	平成13年度より取組み市内全域で事業展開を行ったが、一巡したため平成16年度より2年に1回の頻度で指導を実施している。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="radio"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="radio"/> 補助金 <input type="radio"/> その他(0) 担当職員及び市が委託した契約者(シルバー人材センターに在籍する浄化槽管理士の資格を有する者)と地区の役員により浄化槽の巡回指導を行う。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	浄化槽の維持管理について法律に定める保守点検、清掃(法第10条)定期(水質)検査(法第11条)の実施状況について巡回指導を実施することにより、適正な管理がなされ公共用水域の水質が保全される。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度		20年度		21年度	
A	事業費 (千円)	755		676		626	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	市債	0		0		0	
	その他	0		0		0	
	一般財源	755		676		626	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.00	0.45	0.00	0.47	0.44	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	3,105		3,247		3,002	
D	総事業費(A+C) (千円)	3,860		3,923		3,628	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト 113 円		H21)市民1人当りの行政サービス費用		579,596 円	

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	助成対象人数	年度末対象者（人）	3,872	3,737	3,700
	助成件数	年間総件数（件）	34,056	52,956	49,997
	助成金額	年間総助成金額（千円）	63,827	94,104	84,431
成果指標	対象者1人あたり年間利用件数（件） （算出式数値）	助成件数／助成対象人数 49,997件／3,700人	8.80	14.17	13.51
	1件当たりの助成金額（円） （算出式数値）	年間総助成金額／総助成件数 84,431千円／49,997件	1,874	1,777	1,689
効率指標	1人当たりの費用額（円） （算出式数値）	総事業費／助成対象人数 86,367千円／3,700人	17,019	25,644	23,342
	1件当たりの費用額（円） （算出式数値）	総事業費／総助成件数 86,367千円／49,997件	1,935	1,810	1,727

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ・乳幼児医療費助成制度は、子育て支援や医療受診の充実・経済的負担の軽減からも妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない ・助成を行うことで経済負担の軽減が図られている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない ・効率的である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 対象年齢の拡大を検討	(2) 23年度 円滑な事業推進	(3) 22年度 円滑な事業推進
	21年度の改善計画		
21年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	全県下による少子化対策事業であり、その成果が上がっているので継続実施		